三菱マテリアル株式会社
ＩＲ決算説明会

2005年11月17日

取締役社長　井手明彦

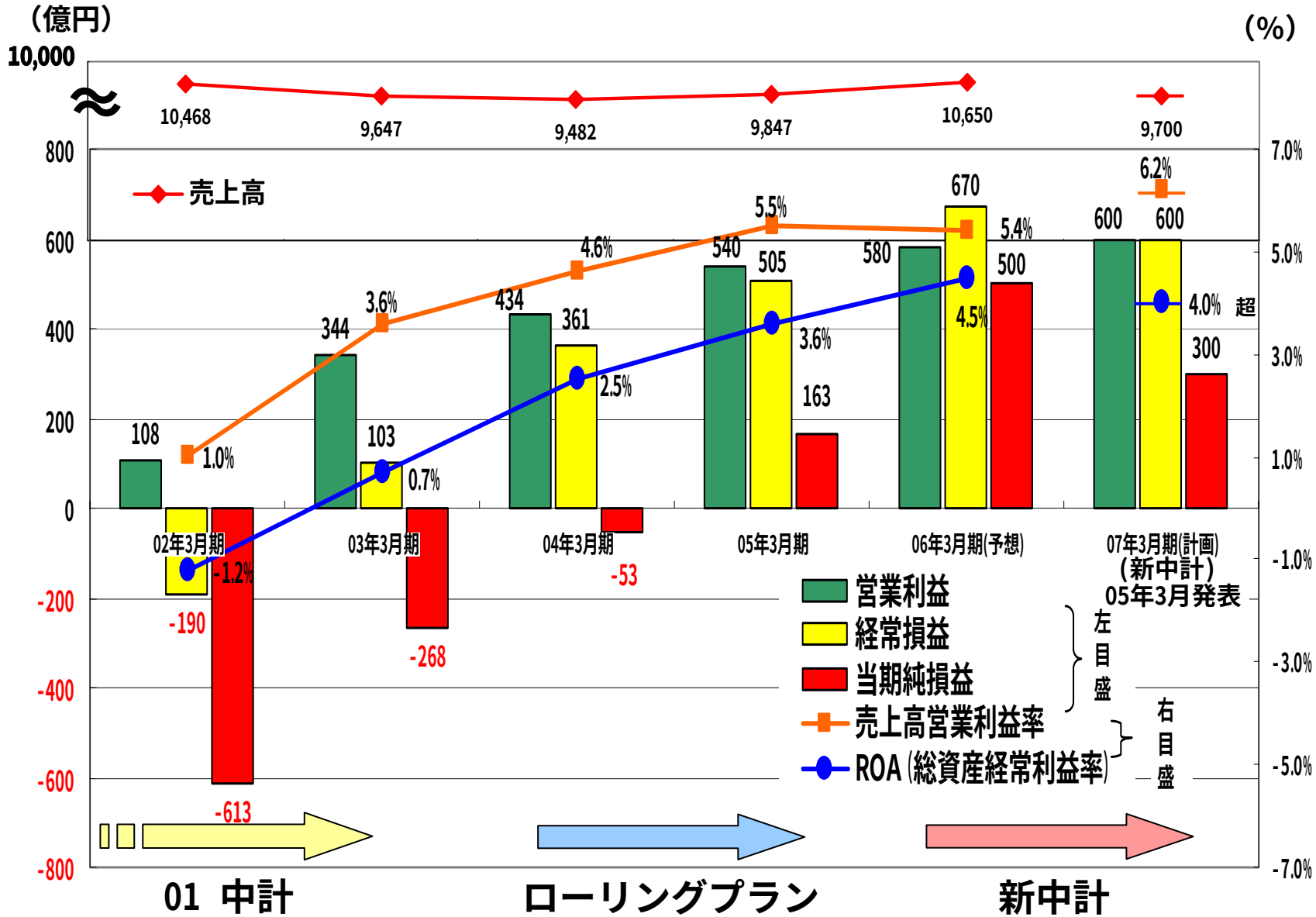
本業で勝ち抜く・感動の共有

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

ＩＲ決算説明会資料
目　次

- 損益推移状況（連結ベース）　・・・３
- 新中期経営計画における取り組み状況・・・４～５
- 業績の概要　・・・６～７
- 06年3月期連結経常利益増益要因分析・・・８
- セメント事業　・・・９
- 銅事業　・・・10
- 加工事業　・・・11
- アルミ事業　・・・12
- 電子材料事業　・・・13
- まとめ　・・・14～15

損益推移状況（連結ベース）



新中期経営計画における取り組み状況①

1．新中期経営計画スタート
(05年4月～07年3月)

①基本コンセプト：収益構造の安定化を図るとともに、複合経営の
強みを生かし本業で勝ち抜く成長基盤を確立する

②経営目標　経常利益　600億円
（06年度）　ＲＯＡ（総資産経常利益率）　4%超
有利子負債残高　7,000億円

2．主な取り組み

＜事業再編＞

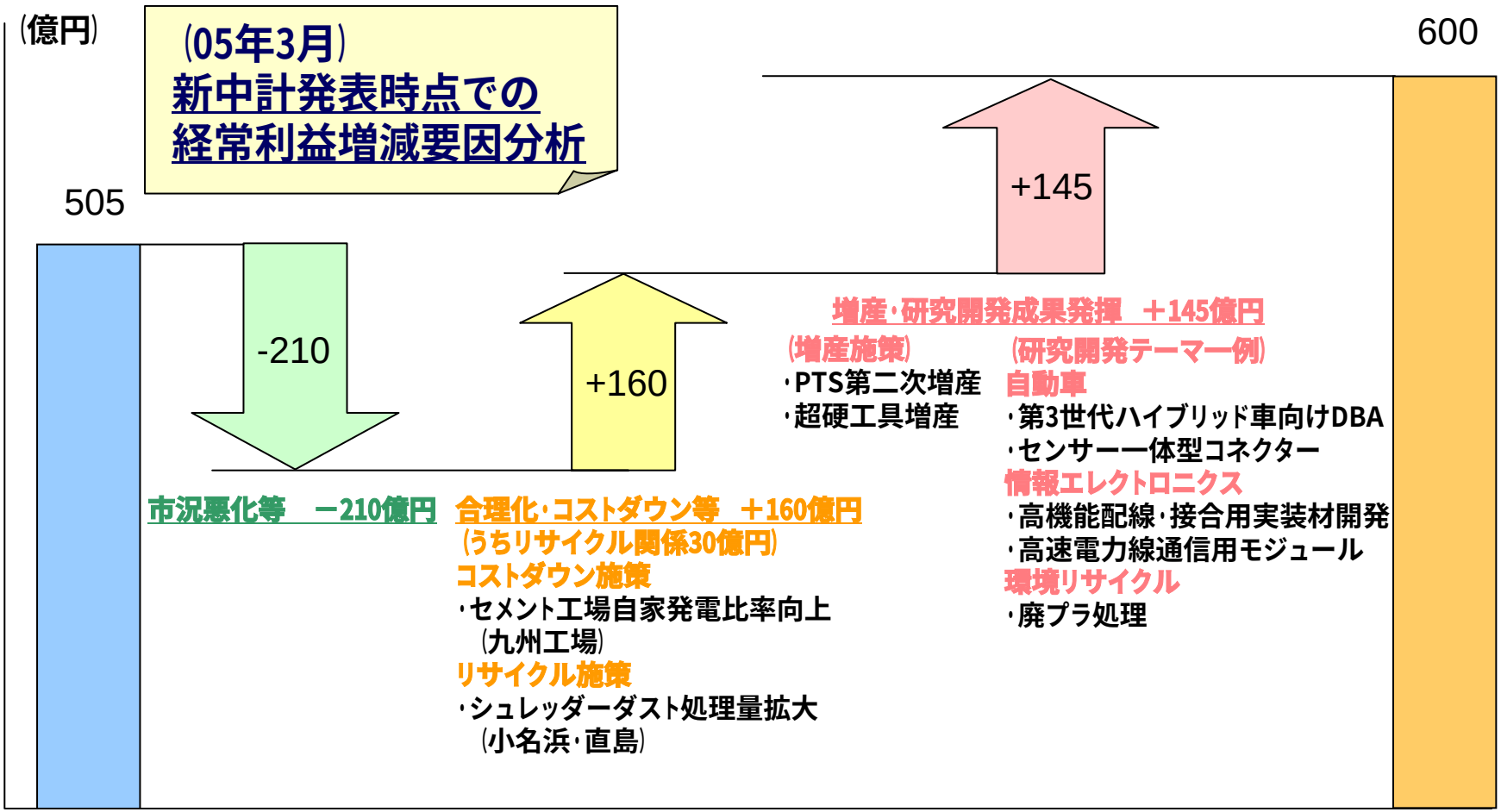
①05年10月（アルミ缶事業）ユニバーサル製缶スタート
②05年12月（焼結部品事業）三菱マテリアルプランゼーグローバルシンターホルディング社
（ＰＭＧＨ）発足（予定）

＜ＳＵＭＣＯ上場＞

①11月17日　東京証券取引所へ上場
②当社保有株式の一部を売出し（14,400千株※オーバーアロットメントによる売出し分2,190千株を含む）
保有比率 50%　→　約30%
（持分法適用会社）
③ＳＵＭＣＯの株式公開に伴う利益計上による業績への影響
特別利益（連結）約399億円
（単体）約153億円
④売却収入を、有利子負債の圧縮、収益力向上に向けた投資等に活用予定

新中期経営計画における取り組み状況②

新中計利益目標：07年3月期経常利益　600億円
05年3月期比　95億円増加（18.8%up）



業績の概要①（中間期実績）

	05年3月期 中間期 実　績	06年3月期 中間期 実　績	(参考) 06年3月期 中間期 期初見通し (05年5月10日公表)	06年3月期 中間期 前回見通し (05年9月20日公表)
売　上　高	4,663億円	5,249億円	4,750億円	5,100億円
営業利益	232	310	250	290
経常利益	241	367	220	320
当期純利益	95	164	50	130

◆06年3月期中間期業績のポイント◆

- セメント、銅、加工事業が期初見通し以上に好調推移
  - （セメント）　米国事業が好調
  - （　銅　）　銅価格が上昇
  - （加　工）　超硬製品の販売数量が増加
- 米国三菱セメント開発、ＭＭネザーランズ、SUMCOの業績が好調に推移し、持分法投資利益が拡大
- 減損会計適用（固定資産減損損失　67億円）

業績の概要② (通期見通し)

	05年3月期 実　績	06年3月期 今回見通し	(参考) 06年3月期 期初見通し (05年5月10日公表)	06年3月期 前回見通し (05年9月20日公表)
売　上　高	9,847億円	10,650億円	9,700億円	10,300億円
営業利益	540	580	550	560
経常利益	505	670	550	620
当期純利益	163	500	180	240

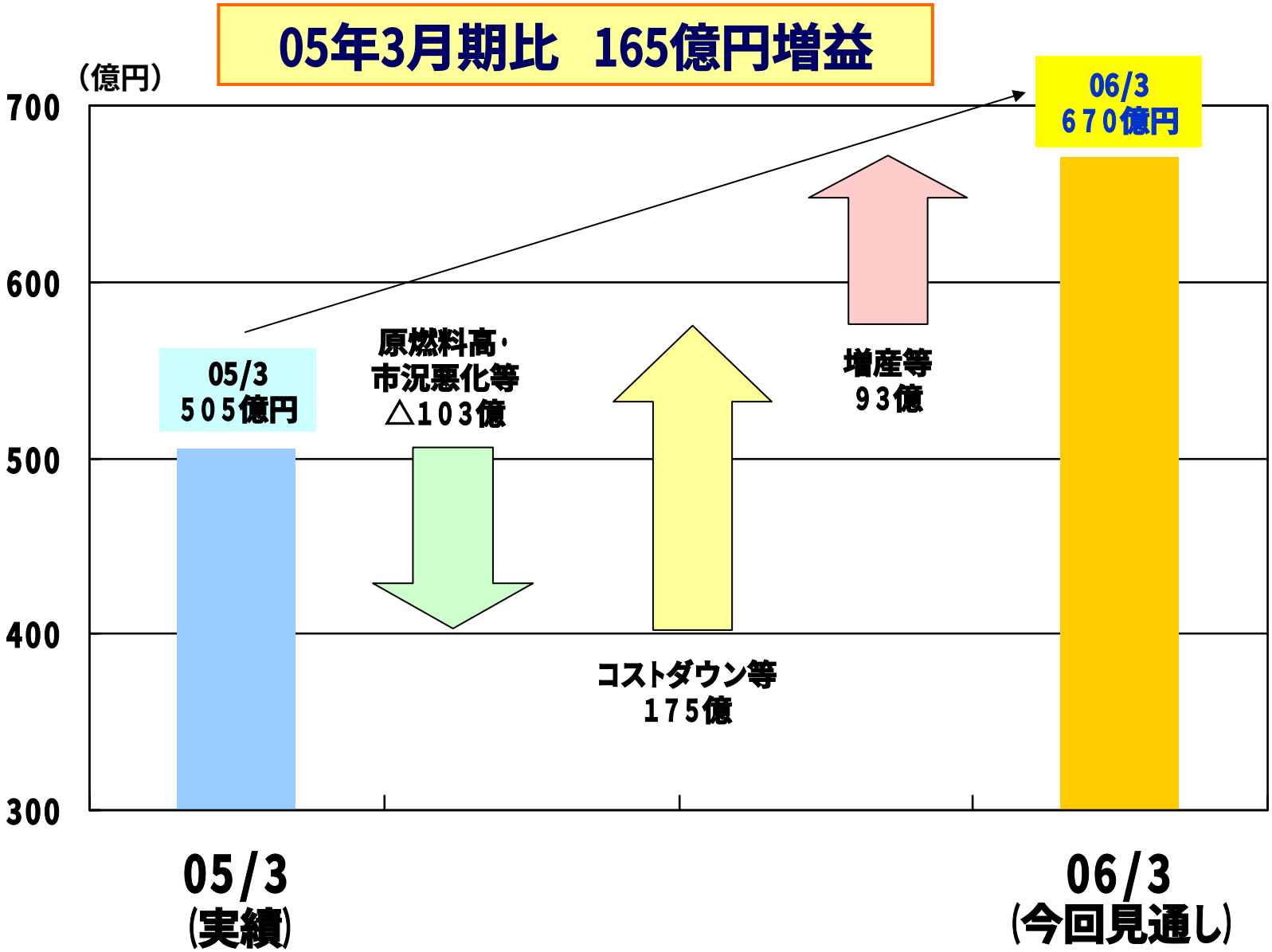
◆06年3月期通期業績のポイント◆

・アルミ事業がアルミ缶販売数量の未達等により下ブレするが、セメント、銅、加工事業が好調に推移し、全体としては期初見通しを上回る予想

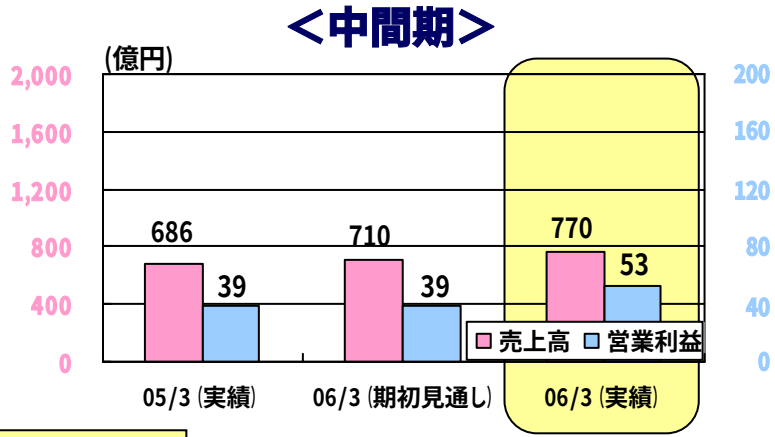
新中期経営計画の利益目標、経常利益600億円を前倒し達成

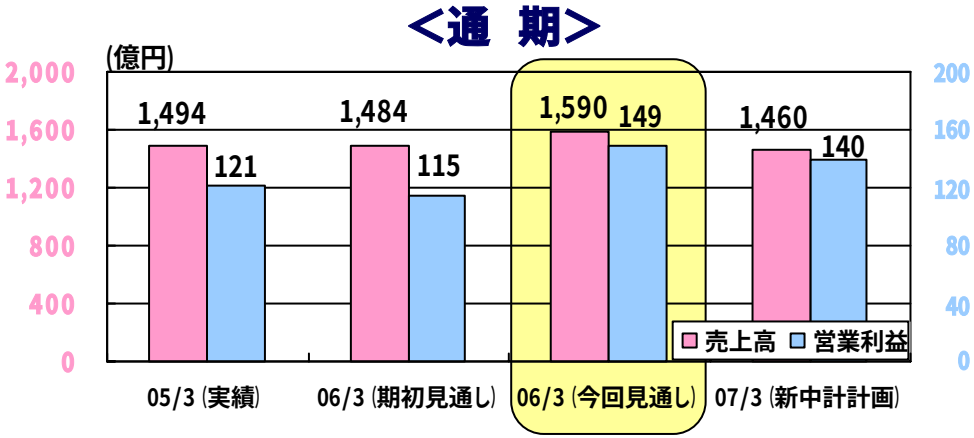
・SUMCOの株式公開に伴い、特別利益として連結ベースで約399億円を計上

06年3月期連結経常利益　増益要因分析



セメント事業





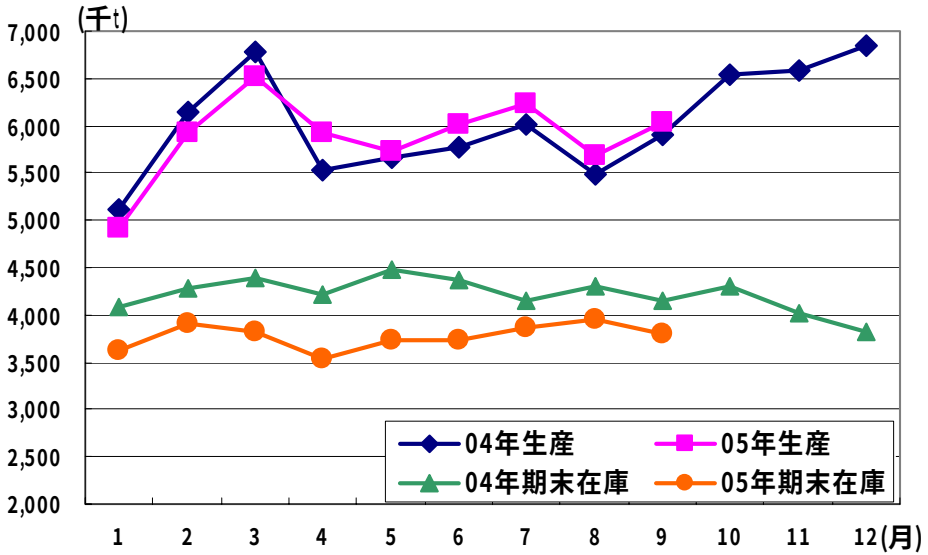
事業環境

- 国内セメント需給ひっ迫 (セメント在庫減少)
  ＜05年度　内需前提＞
  期初見通し　5,500万t ⇒ 今回見通し　5,750万t
  (前年度並)
- 米国セメント需要は高水準を持続

事業計画

- 値上げへの取り組み
  (宇部三菱セメント社：取引先各社の平均でトン当たり900円の値上げの浸透を目指す)
- 電力コストの削減を目的とした自家発電設備の導入
  九州工場：07年6月竣工予定 (石炭火力発電)
  電力自給率　約70% ⇒ 100%

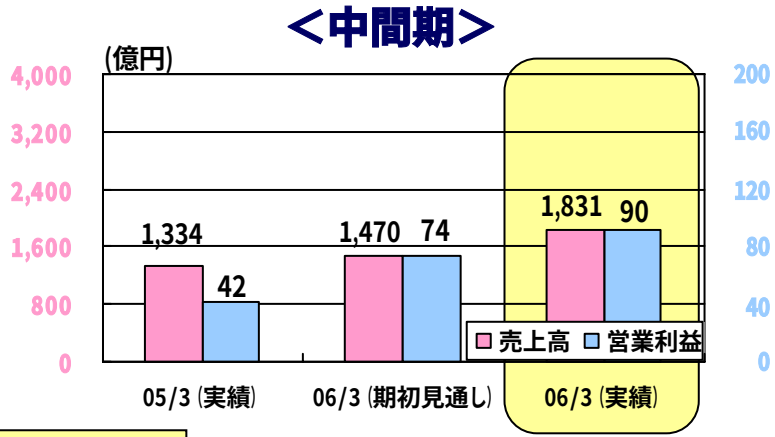
＜セメント生産 (クリンカ出荷を含む) 及び在庫推移＞

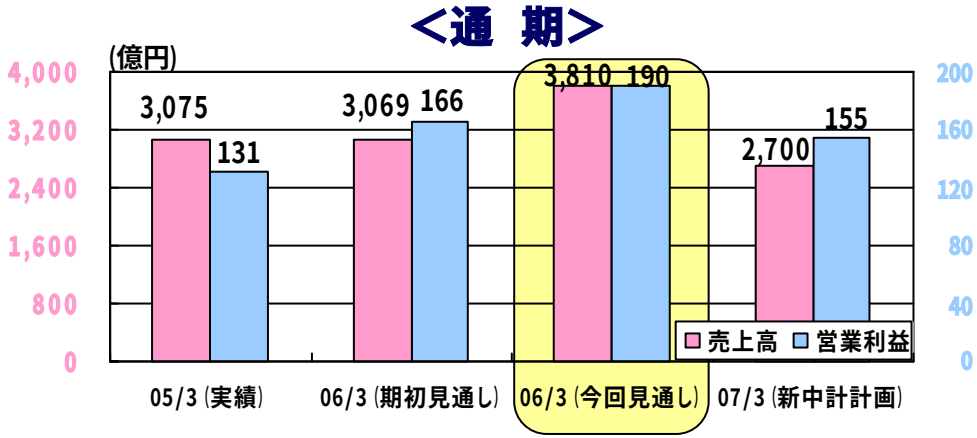


(セメント協会データ)

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

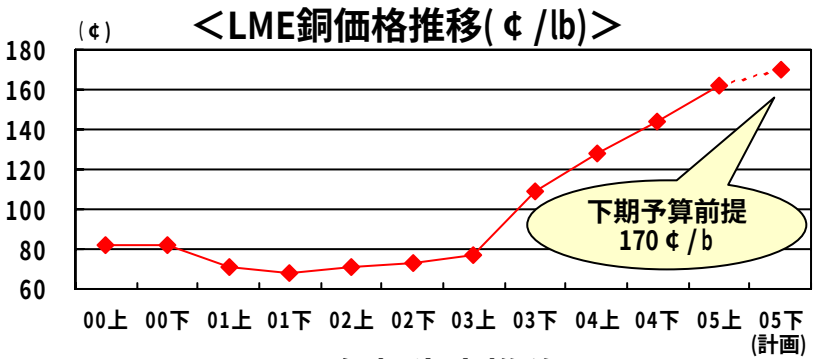
銅事業





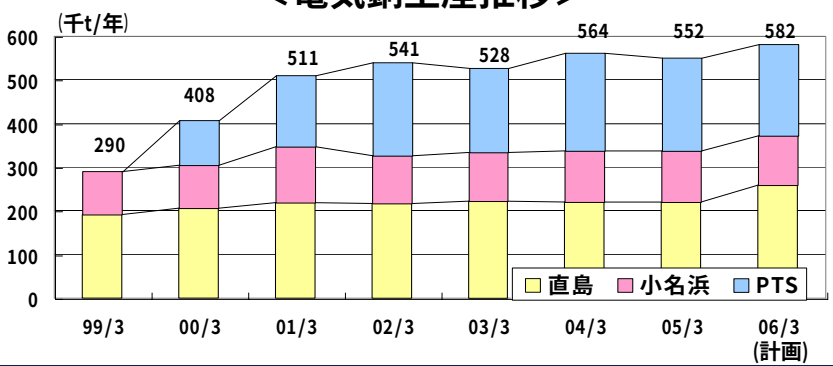
事業環境

- 銅価格
  銅相場は高値圏で推移
  堅調な需要が続き、LME在庫は依然低水準
- 05年度下期前提
  銅価　170 ¢ /b　　為替　110円/US$

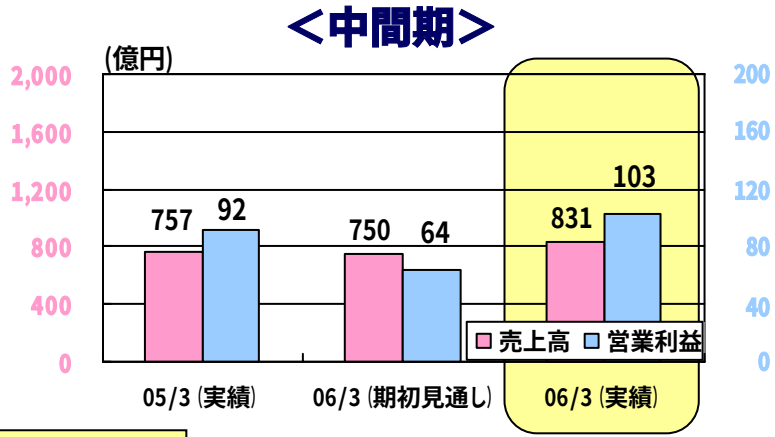


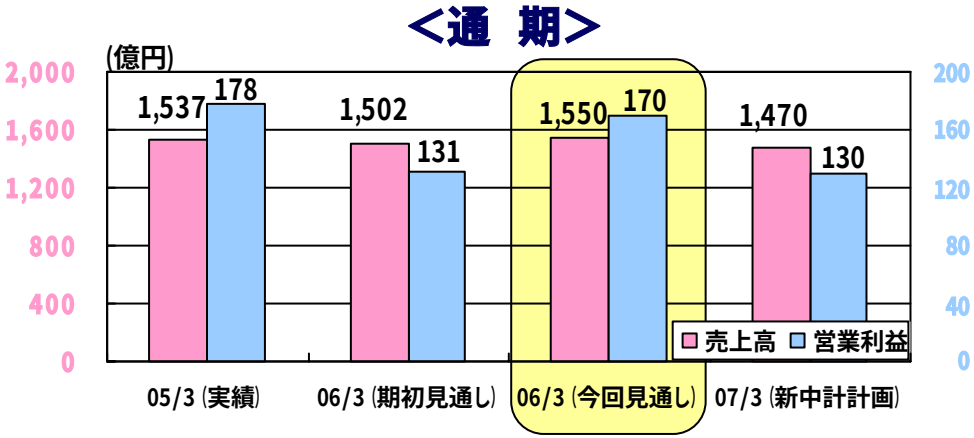
事業計画

- PTSグレシック製錬所の電解能力を約1割拡大
  現在　25万t/年　⇒　06年年央　27万t/年 (予定)
- リサイクル事業の拡大 (シュレッダダスト・飛灰等)
- 銅加工品の拡大 (無酸素銅ベースの銅合金等)



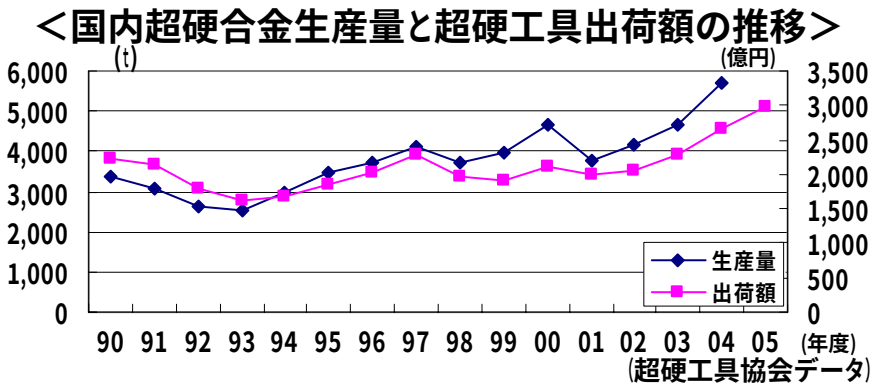
加工事業





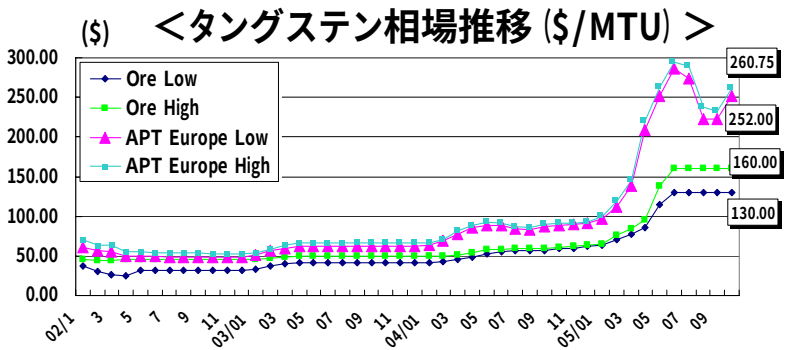
事業環境

- 超硬工具の出荷数量は堅調を持続
  (特に自動車関連の需要が堅調)
- 超硬工具の主要原料であるタングステン価格は高止まり

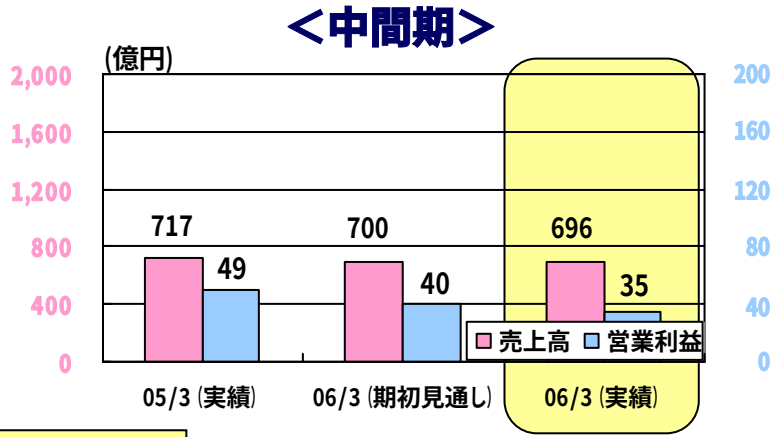


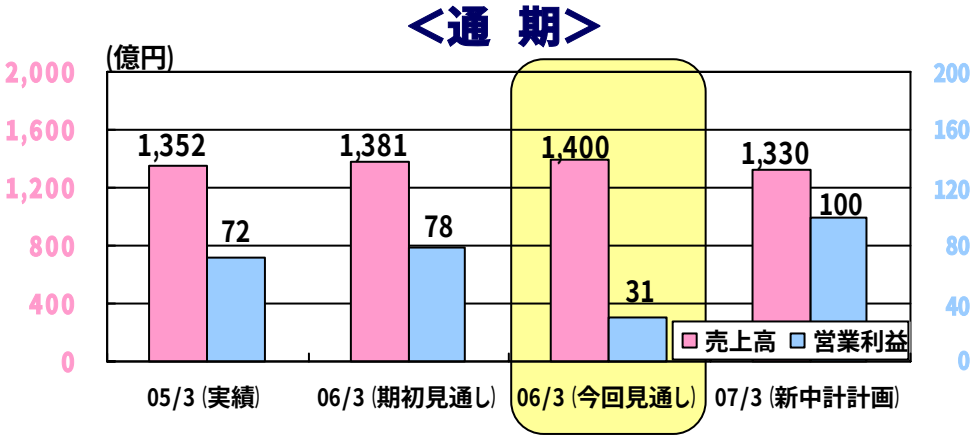
事業計画

- 超硬工具の旺盛な需要に対応するため、生産能力を増強
- 超硬工具向けの原料価格高騰によるコストアップ対策として製品価格の引き上げとコストダウンを推進
- 05年12月、焼結部品事業の国際統合新会社三菱マテリアルプランゼーグローバルシンター社 (PMG社) が発足予定



アルミ事業





事業環境

＜アルミ缶＞

- 地金価格、板材加工賃等のコストが上昇
- 飲料市場における販売競争が激化 ⇒ 容器の採用へも影響

＜アルミ圧延＞

- 05年度上期の圧延品需要は前年度に比べて軟調
  (自動車向けは堅調を維持したが、建材向け等は弱含み)
- 燃料・資材コスト上昇

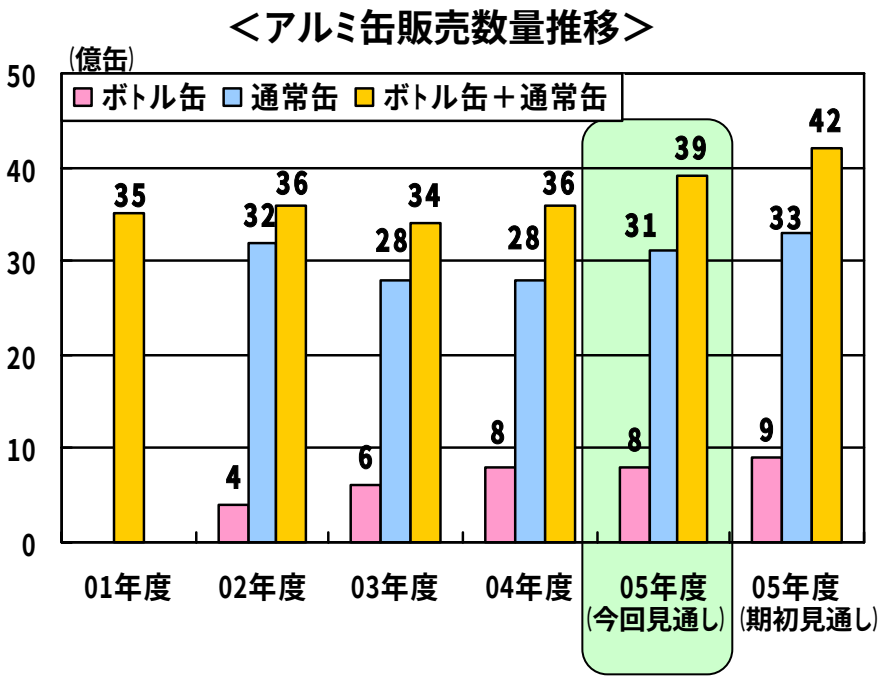
事業計画

＜アルミ缶＞

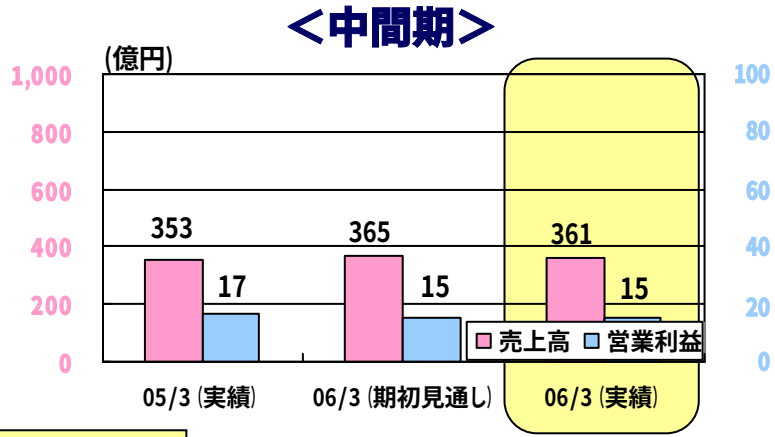
- ユニバーサル製缶における統合効果の発揮

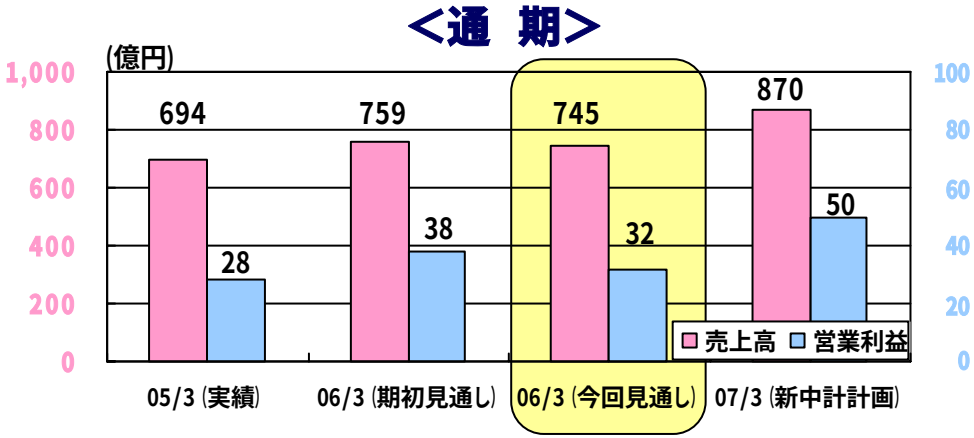
＜アルミ圧延＞

- 自動車向け製品の拡大 (自動車用熱交材等)



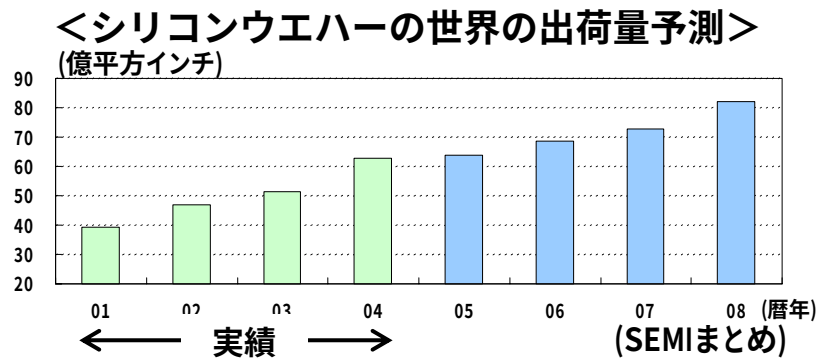
電子材料事業





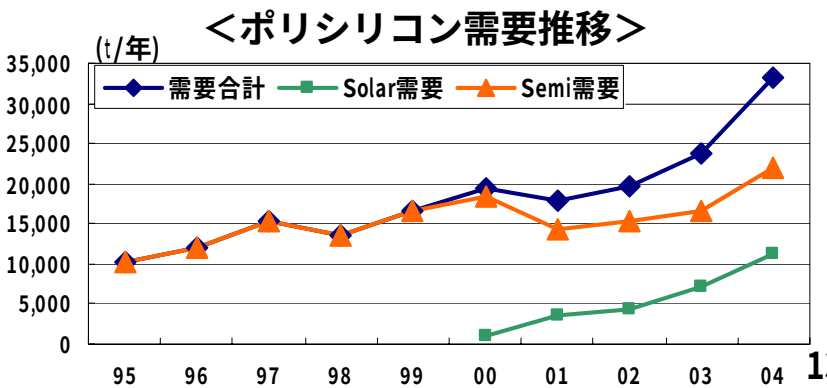
事業環境

- 電子･半導体市場は、下期に緩やかな需要の回復を見込むものの、一部製品について市況の軟化を想定
- ポリシリコンは、半導体、ソーラー向けの需要増により、需給が逼迫
- シリコンウエハーは300ミリが需要を牽引



事業計画

- SUMCOの300ミリ事業の拡大に合わせ、ポリシリコンの生産性向上と段階的増産を実施
- 半導体産業の基幹原料であるポリシリコンを核に、シリコンウエハー及びシリコン精密加工品の事業規模を拡大



まとめ：新中計の達成に向けて①

＜主要5事業の進捗状況＞

(億円)

		06年3月期見通し	07年3月期計画（新中計）	進捗率
セメント	売 上 高	1,590	1,460	109.0%
	営業利益	149	140	106.4%
銅	売 上 高	3,810	2,700	141.1%
	営業利益	190	155	122.5%
加工	売 上 高	1,550	1,470	105.4%
	営業利益	170	130	130.7%
アルミ	売 上 高	1,400	1,330	105.3%
	営業利益	31	100	31.0%
電子材料	売 上 高	745	870	85.6%
	営業利益	32	50	64.0%
全社	売 上 高	10,650	9,700	109.7%
	営業利益	580	600	96.6%
	経常利益	670	600	111.6%

まとめ：新中計の達成に向けて②

～本業で勝ち抜く・感動の共有～

利益目標

利益目標に掲げた経常利益600億円は、06年3月期に達成できる見通し

＜要因＞・これまでの事業構造改革により収益力が強化されたことに加え、銅価格の上昇といった事業環境の好転が追い風となっている

・銅鉱山への投資会社等の持分法投資利益が大幅に増加
＜持分法投資利益＞　06年3月期見通し：約210億円（新中計計画：約130億円）

＜課題＞・アルミ・電子材料事業の収益改善

↓

営業利益の拡大（06年3月期見通し：580億円　⇒　新中計07年3月期計画：600億円）

財務体質改善目標

有利子負債残高：06年3月期見通し：7,200億円

↓ 削減

金属価格の高騰により棚卸資産圧縮は厳しい環境にあるが、資産等売却により計画達成を目指す

新中計計画　：7,000億円

MITSUBISHI MATERIALS CORPORATION

◆お問合せ先◆

三菱マテリアル株式会社　広報･IR室
〒100-8117　東京都千代田区大手町1-5-1
TEL　：03-5252-5206　FAX：03-5252-5272
E-MAIL: www-ir@mmc.co.jp
URL　：http://www.mmc.co.jp/japanese/ir/index.html

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。